

小山市・下野市・野木町における家庭ごみの組成調査結果について

1. 組成調査の目的

小山市・下野市・野木町の小山広域保健衛生組合管内で、令和7年4月の指定袋制度の導入に向けた検討を進めている。このような中で、指定袋導入に伴うごみ分別の徹底で、どの程度の減量化が図られるのかといった政策の効果を含めて組成調査を実施し、制度開始前の分別状況と開始後を比較する。

また、ごみ分別の徹底により、現行の燃やすごみには食品廃棄物及び食品ロスだけでなく、製品プラスチックが含まれており、次の対応としてこれらの排出量削減やリサイクルといった様々な施策が求められている。

これらを踏まえ、今後のごみの減量化を推進するため、現時点での基礎資料として現状を把握することを目的とする。

2. 調査方法

小山市、下野市、野木町からそれぞれ約100世帯分の燃やすごみを回収し、剪定枝、プラ容器、可燃系資源物、不燃系資源物、不燃ごみ、有害ごみといった分別不適合なごみを分けるとともに、燃やすごみについては、食品廃棄物及び食品ロス、製品プラスチックの混入量及び混入割合を把握する。

なお、食品廃棄物及び食品ロスの調査は東京メソッドに沿って行う。

3. 実施日

令和6年1月25日(木)8時～15時30分

4. 家庭ごみ回収方法及び分類作業

家庭ごみ回収方法

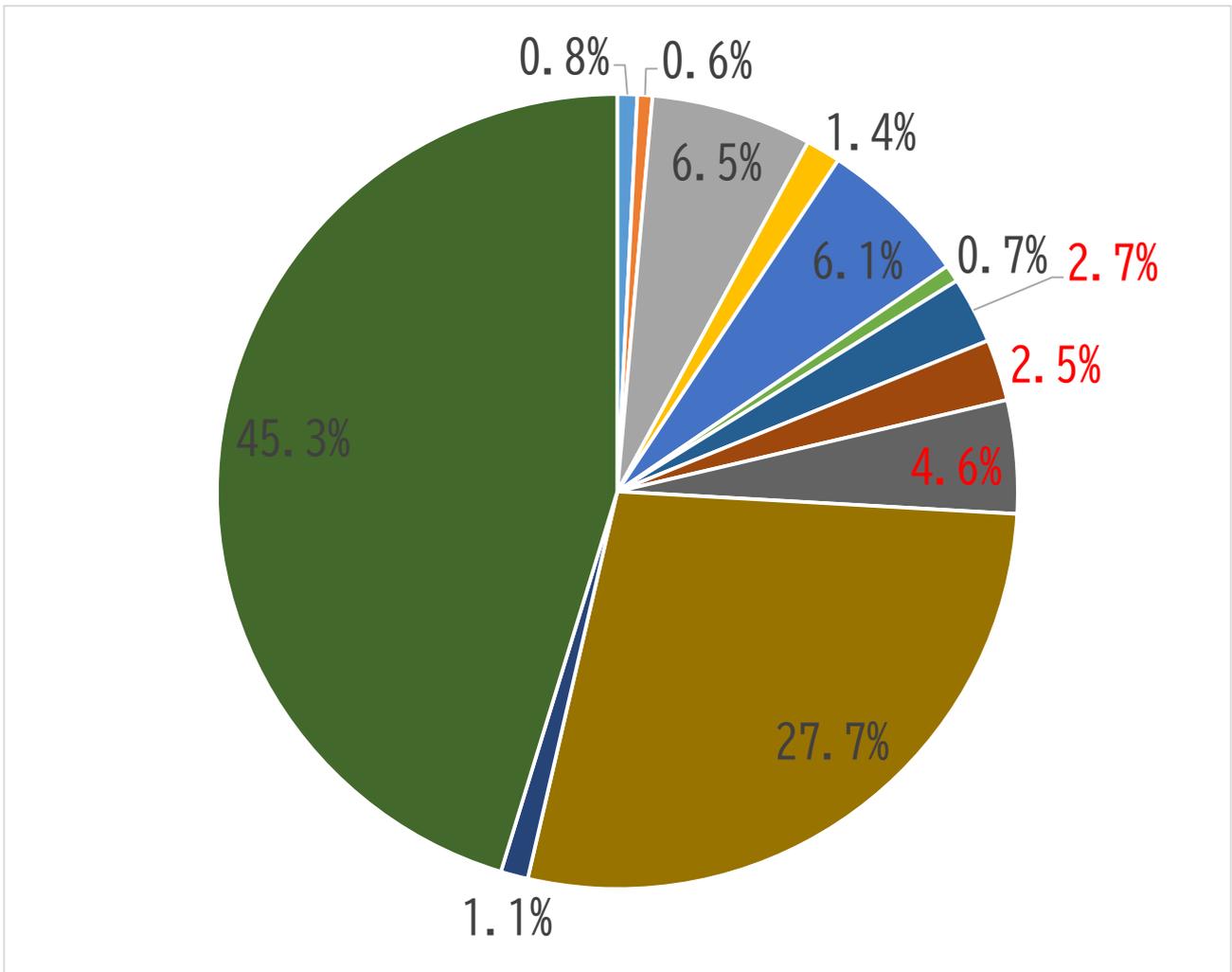
各市町において、当日8時から約100世帯分の家庭ごみを回収

構成市町・小山広域の職員並びに県職員の協力のもと分別作業を実施

5. 収集量 約270kg



組成調査の結果について



品目	重量(kg)	組成割合
不燃系資源物(ビン・缶・ペットボトル)	2.1	0.8%
不燃ごみ	1.7	0.6%
可燃系資源物(紙)	17.3	6.5%
可燃系資源物(布)	3.7	1.4%
プラ容器(プラスチック容器包装)	16.2	6.1%
製品プラスチック	1.9	0.7%
未利用食材(未開封食材)	7.3	2.7%
調理済み食品ロス(未開封食材)	6.7	2.5%
非食品(食べ残し)	12.3	4.6%
非食品(意図的除去部)	74.2	27.7%
非食品(分類不能)	2.9	1.1%
燃やすごみ	121.4	45.3%
計	267.7	100.0%

不燃系資源物(ビン・缶・ペットボトル)



不燃ごみ



可燃系資源物(紙)



可燃系資源物(古布)



プラ容器包装



製品プラスチック



未利用食材(未開封食材)



調理済み食品ロス(未開封食材)



非食品(食べ残し)



非食品(意図的除去部)



非食品(分類不能)



燃やすごみ

